



久慈川

矢祭町立矢祭中学校だより

文責：校長 2018年 3月16日（金）No.40

第71回卒業証書授与式～44名の皆さん卒業おめでとう！～



思いが伝わるとても素晴らしい卒業式でした

13日(火)に古張允町長はじめ多数の来賓の皆様のご臨席のもと、第71回卒業証書授与式を挙りました。

矢祭中学校を巣立つ3年生44名それぞれの達成感、喜び、決意、希望、感謝、母校を去る寂しさ…、こうした様々な思いが伝わる厳粛かつ感動的な素晴らしい卒業式でした。

鈴木航志郎さんは卒業生を代表して答辞を述べ、海外修学旅行や並木丘祭等の中学校生活で経験したことやそこから学んだ「辛く苦しい経験が、自分を大きく成長させる」ということを在校生にしっかりと伝えてくれました。また、今日まで慈しみ育んでくださったご家族、教職員、地域の方々への感謝の気持ちも伝えてくれました。

1、2年生も、礼法や挨拶、式歌を通して卒業生への祝意と謝意を表すことができました。この1年間の成長が窺われる、立派な参加態度でした。

生徒会長の藤井隆則さんは送辞で「私たちは、この矢

祭中学校を、先輩方の勇姿にならって、ますます誇れる学校にしていくことを誓います」と、これから最上級生として本校の伝統を発展させていく決意を力強く述べてくれました。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます

3年生の保護者の皆様、あらためてお子様のご卒業おめでとうございます。また、3年間、本校の教育活動にお力添えをいただき、本当にありがとうございました。

お子様が、今後も、自分の良さを生かして、元気に力強く歩んで行かれることを心より祈念いたします。

ご来賓の皆様、ご臨席賜りありがとうございました

古張允町長はじめご来賓の皆様にはお忙しい中、本校卒業式にご臨席賜り誠にありがとうございました。おかげさまで、44名の卒業生は皆様に見守られ、夢や希望を胸に、元気に本校を巣立つことができました。

今後も、本校の教育活動にご理解とご協力をいただければ幸いです。よろしくお願いたします。

茨城県立一般・福島県立Ⅱ期入試全員合格 44名全員の進路実現

14日(水)に茨城県立一般入試と福島県立Ⅱ期選抜入試の合格発表があり、本校から受験した生徒は全員合格という大変うれしい結果となりました。

その結果、44名の卒業生全員が希望する進路を実現することができました。

卒業生の皆さん、進路実現本当におめでとうございませう。皆さんの、今後の一層の活躍を教職員一同心から願っています。

【平成29年度進路先】

高校名	学科	人数	高校名	学科	人数
塙工業高校	機械	3	石川高校	普通	1
修明高校	情報ビジネス	4	西郷支援学校	普通	1
	食品	4	大子清流高校	総合	1
	文理	2	学法石川高校	普通	5
	生産	1		特進	2
修明高校鮫川校	普通	2	仁愛高校	第1看護	2
光南高校	総合	4	日大東北高校	Ⅱコース	1
白河高校	普通	5	昌平高校		1
白河旭高校	普通	4	就職		1

卒業証書授与式校長式辞(抄)



44名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これから皆さんが歩む社会は、人工知能等の急速な進展により、あらゆる面において、大きく変貌すると言われています。

ただ、いくら世の中が変わっても、決して変わらない、大切なことがあります。その大切なことを、饒の言葉として、二つ述べたいと思います。

私が、いつの世にあっても、一番、大切だと思うことは、「誰に対しても思いやりの心をもつこと」です。

先の、ピョンチャンオリンピックでは、スピードスケート女子500メートルで優勝した小平奈緒選手が、敗れた2位の李相花選手に歩み寄り、肩を抱いて健闘を讃えた、その姿が、世界中に大きな感動を与えました。

一方で、女子団体バドミントン競技では、遅れた後の一人を見捨てゴールしたある国の選手が自国民から批判されるといったエピソードもありました。

オリンピックで繰り広げられたこうしたドラマを見るにつけ、本当に大切なのは、人を打ち負かすことではないということ。金メダル以上に価値があるのは、「国籍や人種、考え方などの違いを超えて、誰に対しても思いやりの心をもつこと」。このことを改めて確信しました。

皆さんには、「敗れた人、困っている人、ハンディを持つ人、そういった人に対して、思いやりの心をもつ」ことができる人間として、さらに成長してほしいと願っています。

今後も、決して変わらない大切なことだと確信する二つ目は、「決してあきらめずに努力を続けること」です。

このことに関して、多くの卒業生の皆さんが全校発表で、部活動、音楽祭、駅伝大会、並木丘祭、受験等に真剣に取り組んだ自らの経験をもとに、「私は、3年間の部活動の経験から、あきらめずに努力を続けていけば、必ず目標を達成することができる」と確信しました。」など、あきらめずに努力を続けることの大切さについて話をしてくれました。

先に、触れた小平選手も、メダルを逃した2014年のソチオリンピックのあと、決してあきらめず、スピードスケート強豪国オランダに2年間留学し、メンタルとフィジカルの両面を鍛え直し、体格や年齢のハンディを克服し、31歳で五輪新記録を打ち立てて、金メダリストとなりました。

皆さんは、今日、矢祭中学校を卒業し、明日から、新たな世界に飛び立ちます。決して、楽な世界ではありません。思うようにいかないことの方が多い。十のうち、八、九はつらいこと、苦しいことだとの覚悟がいきます。そうした中で、自分の力を発揮し、一人の人間として、また、社会人として力強く歩んで行ってほしい。そして、幸せになってほしい。

そのためには今述べた「誰に対しても思いやりの心をもつこと」、「決してあきらめずに努力を続けること」。この二つを胸に刻み、生き方の指針としてほしいと願っています。

いよいよ新しいステージの幕が開きます。改めて、皆さんの、限りなく広がる未来に幸多かれとお祈りし、式辞といたします。

栄光の記録

【第48回世界児童画展】

○入選 菊池 朱夏、藤井 俊輔

矢祭小中連携乗入れ授業(体育)



15日(木)に、齋藤剛先生が「走るコツをつかむ」ことを目標に矢祭小5年生の体育の授業を行いました。

授業では、ボルト選手など一流選手の走り进行分析した映像資料を見て、膝下をまっすぐ伸ばす等、速く走るためのコツを確認しました。その後の実技では、デジタルカメラで撮影した映像で自分の走る姿を確認しながら練習し、コツを身につけることができました。その結果、ほとんどの児童がタイムを伸ばし、「やったー！」と両手を上げて喜ぶ多くの児童の姿が見られました。

専門的な知見を基にした的確な指導により、多くの児童が達成感、満足感を得ることができた授業でした。

来週の主な行事予定

日(月)	朝	自/朝	行事
19日(月)	給食	○	・全校朝会 ・スクールカウンセラー来校
	部活	○	
	朝	自/朝	
20日(火)	給食	○	
	部活	○	
	朝	自/朝	
21日(水)	給食		・春分の日 ・第10回福島県中学強化ソフトテニス研修会 福島市庭球場
	部活		
	朝	自/朝	
22日(木)	給食	○	1・2年愛校作業(6校時)
	部活	○	
	朝	自/朝	
23日(金)	給食	○	・修了式 ・職員会議 ・部活動なし 最終下校時間10:10
	部活	△	
	朝	自/朝	
24日(土)			
25日(日)			